第5号　昭和27年10月5日　金木だより　毎月5日発行

金木だより

発行所　金木町役場
印刷所　東奥日報社

金木だよりは毎月一回発行になります、部数の都合上どうぞ回覧して見て下さい

縣、町の教育委員選挙は十月五日です
必らず投票しましょう

金で選ぶな　心で選べ

❶ 財政事情説明書（その一）
❶ 公職選挙法一部改正
❶ 農事改良組合長名簿
❶ 小使さんコボス　税金の話
❷ 沢部用水堰堤工事完成
❷ 納税完納表彰式
❷ 八月の明暗
❷ 産業教室　馬の伝貧について

昭和二十七年六月三十日

財政事情説明書（其ノ二）

金木町長　花田一

目次

はしがき
第一章　昭和二十七年度予算はどう編成されたか
第1節　歳入予算はどのようにして計上されたか
第2節　歳出予算はどのようにして計上されたか
第二章　昭和二十六年度の予算はどのように執行されたか
第1節　歳入について
第2節　歳出について
第3節　特別会計について
第4節　昭和二十六年度本期の収支状況
第三章　町債及び町有財産の現況
第四章　昭和二十五年歳入歳出決算について
第五章　町民の負担状況について
第六章　町民の負担状況について
附録　別表
はしがき

六年有余に亘る国連軍の占領下から脱して既に数カ月、赤ん坊の独り歩きは満一カ年の前後でありますが、国民の日々の生活の総べて一、二九五、九三〇円で、昭和二十六年度の当初の予算に比較して一、四九〇、六八八円の増ですが同年度の最終予算に比較すれば五四一五、一三四円の減となつています、この両年度における多額の増減は町民の皆様が御承知の通り小学校の復旧工事費に基くもので今年度をもつて完成の予定でありますから今後における予算の編成は大体正常に立直るものと思つています

予算の編成に当つては極力無駄を避け予算の効率的な運用に意を致し財政収支の均衡を堅持しつつ民生の安定に、産業の振興にはたまた行政各般に亘る施策を行うため慎重なる考究の結果、経常費については出来得る限りの節減を図り町政運営の効率に支障のないようにすると共に、町民の直接負担となる町税賦課率の上昇の抑止に留意する等諸般に亘る方策を練つて編成したものであります

過ぎたるは及ばざる如しで今更云云するわけではありませんが、小学校焼失の傷手に伴う負債が一、八六五万円でこれの影響が大きく三カ年に亘る赤字の町財政の運営は町税の滞納と共に悩みの種とはなつてるものの今後は更に引締め健全財政の確立に全力を傾注する意図であります

〝小使さんコボす〟
税金の入らぬ町役場

起し肝心の用件を切出すのに咽喉がつまつて次の言葉が出なくなります、とこぼす役場の小使さん…月給取りでも、商人でも自分の懐に入つてくるべき筈のものが入つて来ない時の苦しさは誰でも同じこと『済みませんが今暫くお待ちこと』としても去る六月十七日行政整査委員からの勧告により税法を守るという意味においてまた町の礎局を救うためにも懸賞な多額滞納者があれば法に従つて断固たる措置をとる考えでいます

小使さんは今日も督促状をもつてテクテク町を廻つています、町の皆さんが税金を納めてくれれば小使さんも随分と楽になることでしょう

銀行から借りたお金の利子、それは約八十万円になります、小使さん今度はコボしません

『八十万円もあればなア』とただそう申すだけ…

小使さんは心の中で一体何を考えているのでしょう

町の皆さんは如何です？

〝第三期以降から
課税額に多少の増減〟

昨年政府から示された固定資産の評価基準に基いて本年は第二期まで課税してみましたが、剛れぬこととてその全きを得ることができず町民の皆様には御迷惑をおかけして参りました

九月からは再び固定資産の評価のため係が調査に参ります

従つていままで不公平だといわれた課税額も固定資産再評価後の第一三期以降において調整いたしますから御了承願います

鑑札のない犬は殺されます

毎年四月一日現在で生後九十一日以上の犬を飼つている人は四月三十日まで、四月二日以後に生後九十一日以上の犬を所有した人は一月以内に犬の登録を役場に申請して鑑札をもらつて犬の頸輪につけておかねばなりません、この登録の際に三百円を手数料として支払うことになつています

当町では十一月からまた野犬狩りを始めますが登録してない犬や鑑札をつけていない犬は殺されるはかりでなく三万円以下の罰金を課せられますから御注意まで

○前号一訂正

第四号賦課率を担税力の欄中三納税方法の第二項中『第二、三期は所得割二分の一ずつ』とあるのは『二、三、四期に三分の一ずつ』の誤りにつき訂正致します

公職選挙法一部改正
九月一日から施行

『公職選挙法の一部を改正する法律』は八月十六日法律第三百七号として公布され、又同時に『公職選挙法施行令の一部改正（政令三四七号）』及び『公職選挙法施行規則の一部改正（総理府令第五六号）』が夫々制定された

今回の改正の主要な点は次の如し

❶選挙の公示及び告示については衆議院議員、都道府県知事及び都道府県の教育委員は二十五日前（旧法三十日）都道府県議会議員及び五大都市の各選挙は二十日前（旧法通り）一般市の各選挙は十五日前（旧法二十日）町村の各選挙は十日前（旧法二十日）という具合に総とが短縮された

❷不在者投票のうち在宅投票の制度が廃止され、投票所をもつ指定病院入院者以外は、病人や負傷者も選挙の当日投票所まで行かなければならなくなつた

❸同一の氏名、氏また名の候補者が二人以上あるとき、その氏名、氏または名のみを記載した投票を有効とし、開票区ごとに各候補者の有効投票に応じて按分して加算する

❹届出の締切期間は、つぎの如く改正された、参議院議員は選挙の期日前二十日（旧法地方十日、全国二十日）衆議院議員、都道府県知事、都道府県教育委員十五日（旧法十日）都道府県市議会議員、市長、市教育委員十日（旧法通り）町村の議会議員、長、教育委員五日（旧法十日）

❺供託金を引上げ、没収を強化した（一万五千円）

❻地方公共団体の長の決戦投票制度が廃止（法一一七、条一一八条一二八条削除）され、長の選挙については、法定得票数を四分の一に引下げた（旧法八分の三）

❼地方公共団体の議員の補欠選挙は同一地方公共団体の他の選挙が行われるときにかわつた

❽選挙事務所は原則として一カ所とする

❾未成年者の選挙運動は禁止する

❿候補者に許されていた戸別訪問は全面的に禁止された

⓫投票を得しめ、また得しめない目的をもつてする署名運動は禁止された

⓬自動車、船舶、拡声機の使用は衆参（地方）都道府県、五大都市の場合自動車一台または船舶一隻のいずれかを選択し、他に拡声機一台の上でのみ午前六時から午後九時の間に限つて許される

⓭連呼は街頭演説のため交付された標旗を掲げた選挙運動のため使用することのできる自動車または船舶の上、或は自動車以外の諸車一台の上でのみ午前六時から午後九時の間に限つて許される

⓮人気投票の禁止

⓯一般の新聞雑誌以外の報道評論の制限

⓰公営の立会演説会、街頭演説個人演説会以外の演説会は行うことができず、又座談会、政党の会議等に出席して投票を依頼する行為はすべて禁止された

⓱潜在無効投票は開票区ごとに各候補の得票数から、得票数に応じて按分して差引くものとする

⓲当選無効の原因となる選挙犯罪に関する刑事々件については特別の事情のない限り他の事件に優先して裁判を受理した日から百日以内に判決しなければならない

○（当選）に関する争訟における潜在無効投票）

第二百九條の二　当選の効力に関する異議の提起又は訴訟の提起があつた場合において、選挙の当日選挙権を有しない者の投票その他本来効なるべき投票であつてその無効原因が表面にあらわれない投票で有効投票に算入されたことが推定され、且つ、その帰属が不明な投票があることが判明したときは当該選挙管理委員会又は裁判所は第九十五条（当選人）の規定に従つて得た数をそれぞれ差引くものとする

○附　則

1、この法律は昭和二十七年九月一日から施行する、但し、衆議院議員の選挙に関しては、次の総選挙から施行する

2、改正後の公職選挙法第二百九条二の規定は、前項の規定にかかわらず、この法律の公布の日から施行する、但し、従前の公職選挙法の規定による当選の効力に関する争訟でこの法律の公布の日において現に選挙管理委員会に係属している異議の申立若しくは訴願又は裁判所に係属している訴訟についても適用する

農事改良組合長名簿

昭和二十七年八月二十五日現在

組合名	所属町名	組合長氏名
第一部（山道）	竹内　鷹司	神明町（神明）
第二部（朝日）	角田　繁作	津島又三郎
第三部（田町栄）	山田三太郎	新富町（新富）
田町（田町栄）	角田伊三郎	昭和町（若松）
朝日山（米町川端）	津島　俊夫	若松村（若松）
米町（米町川端）	津島辰五郎	竹内　定由
第五部（浦町芦野）	沢田久太郎	田中　定
第六部（神明）	阿部　重吉	不動林（二軒町沢部）
		沢部（沢部）
		白川　竹治
		吉田　泰一
		時田第一（時田）
		時田第二（時田）
		石貫谷定一
		津島又三郎
		新富町（新富）
		角田　泰八
		竹内　定由
		田中　定
		白川千代作
		白川　竹治
		吉田　泰一
		外館惣五郎
		神原第一（神原）
		神原第二（神原）
		藤枝（藤枝）
		芦部（藤枝）
		川倉（川倉）
		宇田野（川倉）
		生（川倉）
		川（川倉）
		坂（川倉）
		湯ノ川（川倉）
		組
		三上市太郎
		間田　正一
		成田　豊吉
		白川　勝巌
		泉谷千代吉
		三浦　正治
		泉谷　正喜
		泉谷久太郎
		白川　健造
		外（金木町二引）金木町役場
		前田豊太郎

組合長に変動があれば至急届けて下さい

昭和27年度当初予算

附録別表

歳入

区分	昭和27年度予算額	昭和26年度予算額	比較増減	摘要
	円	円	円	
町税	7.403.350	6.718.287	685.063	町民税、固定資産税、自転車税、荷車税、電気ガス税、木材引取税、接客人税
地方交付税	5.250.000	5.426.650	△176.650	平衡交付金
公共企業及財産収入	20.450	3.280	17.170	貸家料、配当金、学校積立金
使用料及手数料	300	300		
国庫支出金	228.100	252.300	△ 24.200	委託料、火葬場使用料、手数料
県支出金	3.919.800	3.880.100	39.700	国庫負担金、国庫補助金
財産収入	48.730	262.295	△213.565	県負担金、県補助金
寄附金	200	200		
繰越金	20.000	30.000	△ 10.000	前年度繰越金
雑入	1.005.000	231.850	773.150	不用品払下代金過年度税収入金
町債	3.400.000	2.000.000	1.400.000	中学校建築費充当町債 3.000.000円 町営住宅建築費充当町債 400.000円
合計	21.295.930	18.805.262	2.490.668	

税金は私達の夢の町をつくる

明るい町、住みよい町、楽しい町
学校が出来、保育所も新築されるという。
かつと眼をあけてよくみましょう。
幸福は私達の税金で得られます。

難工事遂に完成
沢部用水堰堤工事

既報（第三号）昭和二十六年度納税完納表彰式は去る七月二十三日午後二時から公会堂（現保育所）で県税務所長、五所川原税務所長外来賓十数名臨席のもとに挙行されたが納税完納の受賞者は六九七名であつた

なおこの日町当局は納税貯蓄組合設立の推奨を図るべく助成金を交付したほか第一、第二次納税完納推進運動の協力者である各小、中学校並に十九年の歴史に輝く朝日納税組合以下七組合に感謝状を贈つた（午後五時式は盛大裡に終了した）

納税完納受賞者氏名

朝日納税貯蓄組合　大橋英三郎　角田又七、岩館清美、木村不二男　併藤農市、田中直太郎、橋本留三郎、白川金蔵、原田勝衛、田中竹三郎、白川常昭　秋元武男、金三郎、成田清明、田中長五郎、秋谷長助、福士惣助、平田順次、村田恵一、大橋得司、神豊三郎、中村盛吉、安田光雄、高橋直三郎、長谷森市、笹木秀七、池田喜真、福士年、福士和夫、原直次郎、大橋梅吉、北川定七、三上藤市、大橋豊衛、棟方修雄、佐々木勇、芳賀忠男、新岡功一、安田百合子、大橋豊吉、大橋ため、高橋慎一郎、白川常守、角田浩、小野正志

金木小学校納税貯蓄組合　鰐田惣四郎、白川アイ子、原田朝江、田中慶司、川口京子、川口豊三郎　併藤暁子、長尾源三郎、長尾かし　田村雄三、山口富夫

藤枝納税貯蓄組合　原田正一、中西肥一、外崎金次郎、白川太一郎、坂本又五郎、工藤岩太郎、今富士之助、原田九一郎、工藤繁次郎、工藤繁太郎、工藤キセ、工藤源三郎、工藤源蔵、原田俊満、原田俊雄

金木納税貯蓄組合　長内良太郎　長内誠三、対馬恵一、角田円満、角田信一郎、お田敬満、村田敬一　大橋源次郎、渋谷志雄、小杉義女　小杉誠一郎、外崎秀雄、阿部鉄雄　鳴海利夫、鳴海健吉、福島清行、西沢長一郎、高田豊之助、大橋勝　伊藤正一郎、山田勝見、山田勝太郎　山田富五郎、小山内市男、外崎良一　郎、山田勝四郎、長利安吉、太田作、秋元三四郎、坂本嘉七郎、工藤善助、外崎定太郎、工藤啓吉、工藤長六、工藤剛十郎、三橋勘太郎、成田留次郎、成田豊吉、成田好勝、原田久次郎、工藤長七、成田清一郎、成田平三郎、原田永太郎、白川直太郎、竹内義治、三橋市之助、竹内正雄、竹内定一郎、竹内義雄、竹内義道、工藤爾次郎　竹内義一、成田鉄蔵、小山内文徳　成田重雄

時田納税貯蓄組合　外崎惣五郎　秋元稲吉、葛西量丸、葛西武男、岡田重勝、黒瀬善之助、田中豊四郎、田中忠蔵、成田かし、傍島武　キワ、米塚勝春、福田隆、沼田重　勇蔵、花田一、野崎昌一、大橋隆治、笹木次郎、高橋英雄、田中実　対馬秀造、津島清二、伊丸岡勤二　藤田要造、石戸谷由雄、津島賢造　野呂儀兵衛、白川常英、菊地義憲　小野四郎、中谷新一、田中長右衛門、白川長吉、中谷専之助、工藤　義治、葛西恵敬、竹内彌太郎、田　中東一、鶴谷勇之助、角田政之　昭和町　併藤定次郎、津島金太　郎、白川そね、荘岡信雄、泉谷半　佐美、田中米造、山口嘉彦、角田　定吉、金木町自動車臨時運行許可書交付手数料条例設定について（可決）

一、寄附採納について（可決）

一、金木小学校教師父兄会から蔵　断器、備品その他体育用具（見積価格一六一、三三〇円）ロ、秋谷清造氏からストツプ・ウオツチ（見積価格六、〇〇〇円）

今月のあしあと

七月二十五日　自動車ポンプ艤装のため須藤ポンプ製作所に回送

同二十九日　藤枝溜池普通水利組合会

同三十日　川倉区議会

八月一日　金木区議会

同四日　中学校竣工検査、定例駐在員会

同八日　農業委員会

同十六日　小学校講堂電燈施設請負契約

同十九日　農業委員会

同二十二日　東北財務局長一行十三湖視察途中来町

同二十三日　納税完納表彰式

同二十五日　教育民生土木常任委員会

同二十六日　行政出納監査

同二十八日　臨時町議会

同二十九日　定例町議会

八月の明暗

【出生】

福士雄蔵長男裕章、太田雄一七女まさ子、藤田健蔵二女富美子、角田重司七女ヒサ子、沢田清一二男清次、津島勢太郎六男幸雄、泉谷勝美長男佳世、中野正勝三女弘子　岡田定雄二男春雄、源井万蔵二男幸治、角田善男長女佳津江、荒関純輔二女美和、工藤サミ三男和次郎、荒関基七三男美智雄、竹内喜代太郎三男徳郎、津島公子二女啓子、奈良末子二女美奈子

【死亡】

角田勇次郎妻（七七）、前田礼之助八女ゆき子（一〇）、佐藤勝郎（四二）、長尾清明（三七）、津島利助（六七）、佐藤金次郎（八〇）、工藤ミサ三男和次郎（一〇）

【婚姻】

△福井県大野町中谷林太郎、金木町武二郎妹田中幸江△金木町彌之助繁秋元万九郎、梅沢村横潟鈴木たけ△北海道増毛町加納正男、金木町唯五郎長女木村ミツ子△嘉瀬村小野正一、金木町善三郎二女白川フサ△金木町福士俊逸、埼玉県渡瀬村吉田菊枝△石川県士田村中岡賢秀、金木町綾照養女生玉良能△金木町藤助孫井場雄治、青森市沖館石戸ハルエ△沿川村五林平高木理喜、金木町貞吉採松屋弘子

【離婚】

△中里町梨名飯市、金木町川倉泉谷巳之助姉セツ

遺族の方々へ
九月から支給される年金

戦傷病者戦没者遺族援護法という法律が去る四月一日国会において成立したことは既に新聞、ラジオ等で御承知の事と思います

この法律は軍人、軍属の遺族に対する年金と弔慰金並びに元軍人、軍属に対する障害年金の支給について定められた法律であります

これには徴用を受けて亡くなられた方の遺族にも弔慰金を支給されることになつています

該当者は役場にお問い合せ下さい

〝これでは崩れる筈〟
吾が子の積んだ賽の河原の石

十数年前から全国に紹介され、戦時中から斯道の権威者によつて研究されてきた賽の河原地蔵尊は、昨年は東京大学の教授以下三名が来町しNHKがこれを録音して全国に放送し、この度また東北大学小田原助教授以下特別教室の学徒四名が祭典前日より来町、詳細に亘る研究を進める等ただ単に風土史、または歴史上の問題として取上げられるばかりでなく〝日本宗教史に〟にも新しい一頁を加え、学界に波紋を投げかけようとしているが、この地蔵尊を巡る区会と当林喜平、平井豊、西堀起太郎、西堀久彌、丹場雄治、津島昇、中村健造、大橋雄治、渋谷良治、茂木栄田郎、大場利文、上林善太郎、斎藤源太郎、土野五一、赤石飯雄、三上粕太郎、三浦敬三、千葉健治、工藤俊治、和島勝美、河田喜久彌、木滝谷恵七、沢田孝、佐藤孝恵、斎藤正利、山中文男、白川清水、北門重三、須郷大衛、田中由定、大澤寺光市、佐々木昭蔵、中谷兵四郎、仙場龍一　山本平内、田中卓助

盛大裡に終つた
納税完納表彰式

講中の紛争は三年も経過している今日未だに解決点を見出だすことなく本年もまた祭典執行の職務を町長が代行したわけだが、古来名刹として全国に浮上つた同地蔵尊だけに、亡きわが子等のみでなく今人達にも非常に遺憾とされている

議会報告

（八月二十九日）

一、昭和二十七年度金木町家畜導入資金保証条例設定について（可決）

一、金木町部課設置条例設定について（可決）

一、金木町職員定数条例改正について（可決）

一、金木町職員弔慰金支給条例設定について（可決）

七月二十五日　自動車ポンプ艤装のため須藤ポンプ製作所に回送

同二十九日　藤枝溜池普通水利組合会

同三十日　川倉区議会

八月一日　金木区議会

一、寄附採納について（可決）

一、金木小学校教師父兄会から蔵断器、備品その他体育用具（見積価格一六一、三三〇円）ロ、秋谷清造氏からストツプ・ウオツチ（見積価格六、〇〇〇円）

産業教室
安心はできない
馬の傳貧

八月十五日から伝貧検診が行われ十九日には一応終り馬の所有者はホツと一息ついていることと思いますが、安心するにはまだまだです、三年前にタツタ一頭伝貧に罹つたのを殺さずにおいたのが、この度の検診で一八六頭に対し二十三頭が発症馬であることがわかり関係当局者をあわてさせていると共に、一見して健康馬と何の変りのない馬がこの伝貧に犯されている事実に馬の所有者も今さらながらに驚いていることと思います

若し伝貧の発症馬として通知書を受けとつた場合には、再び日を改めて検診することになつており、また規則によつてその馬を他に移動させてはいけないことになつていますから御注意下さい

この病気は結果から見て一度罹ればそれが再発するかしないかは一に管理と、栄養の如何にあるといわれており、再検診の結果陽性または疑症を解除されても決して油断のならないものです

二、助成金を交付された組合名

朝日納税貯蓄組合
金木小学校職員納税貯蓄組合
時田納税貯蓄組合
金木町役場職員納税貯蓄組合
藤枝納税貯蓄組合
金木町納税貯蓄組合
芦野納税貯蓄組合
大東ケ丘納税貯蓄組合

三、感謝状を贈られた組合

朝日納税貯蓄組合
金木小学校
時田小学校
川倉小学校
金木中学校